



新浪 剛史

「株式会社ローソン代表取締役社長 CEO」

日常生活から 意識改革を

森で遊んだ思い出といえば、陣地づくりや子ども同士での縄張りづくりなどです。街の中にも遊ぶ場所はあったのですが、無意識のうちに、森や木のある場所に集まっていたんですね。

大人にとっても森とは癒しであり、必要不可欠な存在です。アメリカ留学時に、気分転換したいときはよくセントラルパークに行っていました。都会の中に大きな森があり、その場だけ流れている空気が違うように感じるので、一人で公園に行き森や木に囲まれていると、自然と新しい発想が浮かんでくるときがあります。生命の根源である森林の中に入って活動すると、癒しを与えてくれるのです。ビジネスにもそのような癒しが必要であり、森が新しいビジネスチャンスを生んでくれることもあると思っています。

一企業の責任として、荒れている森林の整備を推進していきたいと考えていました。そこで、十六年前からローソン「緑の募金」活動を推進し、森林整備活動を支援しています。これにより、加盟店オーナーをはじめ、アルバイト、社員などが実際に森林整備に参加したり、海外では、今年から本

員が参加して中国での植林活動を開始しました。今後も海外の森林保護を積極的に進めていきたいと考えています。

さらに地球環境に対して貢献できることを考え、今年四月から箸・バッグの「ケータイ運動」を開始しました。お客様への声かけ運動を実施し、携帯して持ち歩けるお箸「ケータイお箸」みどりのかけ箸をつくり、「ケータイバッグ」の普及活動も行っています。また、全社員に対して、ケータイお箸、コンビニecoバッグの配布を、社内でもケータイ運動を進めています。私自身も常日頃からお箸やバッグをケータイするようにしています。今後の森林のあり方について、多くの人が、森林の認識を深めること、それが最も重要だと考えています。

プロフィール
新浪 剛史(にいのみ たけし)
昭和34年神奈川県出身。慶応義塾大学卒業後、ハーバード大学経営大学院修了。平成12年より三菱商事株式会社にてローソンプロジェクトに関わり始める。平成17年3月株式会社ローソン代表取締役社長CEOに就任。同年8月財団法人 経済広報センターの第21回企業広報賞にて「企業広報経営者賞」を受賞。

Takeshi Niimura